

伝統祭礼の存続が 移住定住に与える影響について

-地域の交流を生み出す伝統祭礼に着目して-

京都府立大学岩松ゼミ かきたま汁チーム

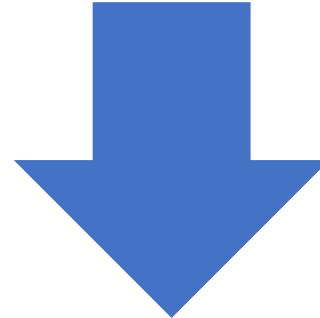
金野佑希乃 瀬島美友紀 高木智也

01

研究背景と 問題意識



農山村地域における 少子高齢化・人口減少



伝統祭礼の担い手不足

研究背景と問題意識



伝統祭礼が消滅すると・・・

地域コミュニティの基盤を失う
→地域の結束力・活力を失う



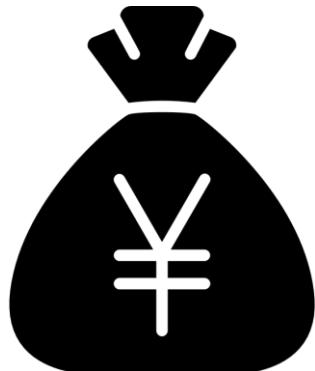
02

本研究の 位置付け

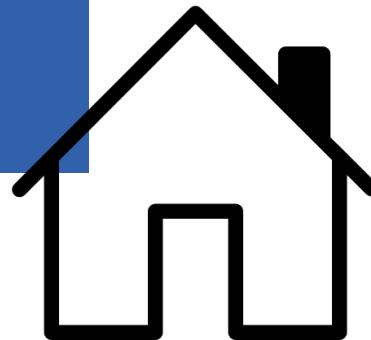


移住先の決め手（従来）

経済的支援



生活環境の
整備



目に見える要因

目に見えない要因

目に見える要因

経済的支援

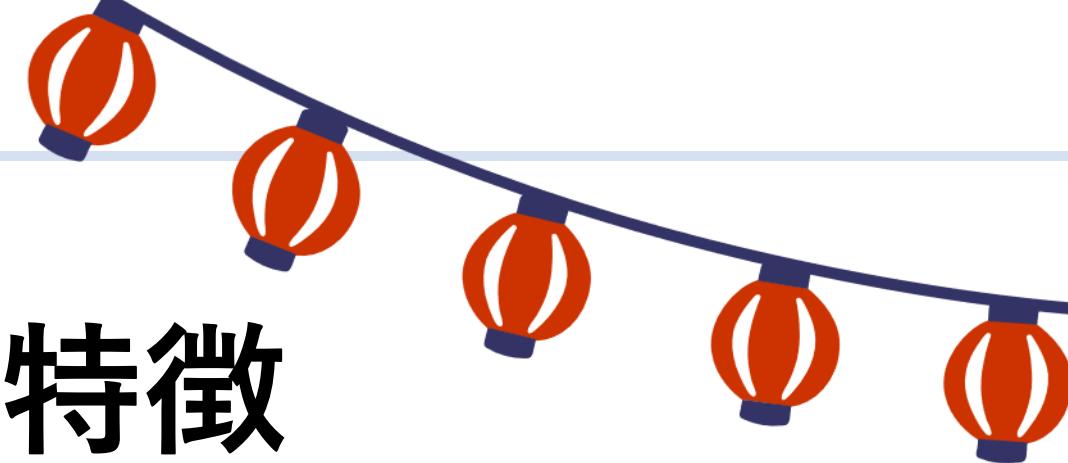


生活環境の
整備



受け入れ態勢
人間関係の質





伝統祭祀の特徴

- ・年に一度
- ・住民が一丸となる

地域の雰囲気を端的に示す場

03

研究目的



祭りの運営変更

柔軟な対応

継承

伝統重視



つなぐ

存続重視

「つなぐ」戦略が 寛容な雰囲気の醸成に どう影響するのか？



地域社会の
開かれた姿勢

交流の機会

移住の心理的ハードルを下げる

04

研究結果



竹野地区について

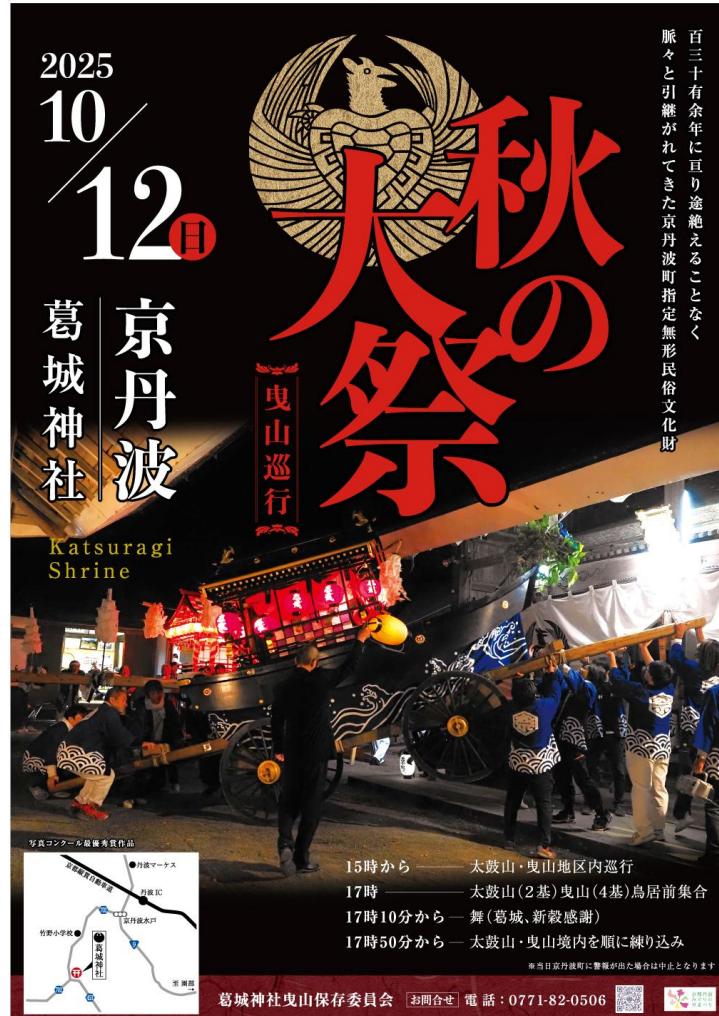


<https://www.town.kyotamba.kyoto.jp/kakukakarasagasu/kikakuyouhouka/gyomuannai/2/3066.html>

京丹波町に属する地域

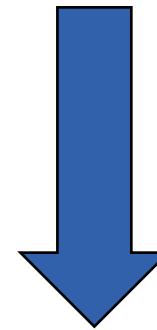
- ・人口は 742 人（令和 6 年時点）
- ・平成28年度以降、毎年移住者を受け入れ
→ 9 年間で移住者は 97 名
(全体の 13 %)

研究結果



葛城神社曳山巡行

130年にわたり受け継がれてきた伝統行事



しかし、人口減少によって
担い手が不足

保存委員会を設立

令和6年度の取り組み



乗子（神輿に乗る子ども）の問題



本来6人乗り→2人しか乗っていない状況に陥る

*竹野から離れた子どもも神輿に乗る対象に →乗子が揃った

→伝統祭礼をきっかけとして帰省する子どもとその家族の増加

参加者：京都府立大生12人

6地区に2人ずつ分かれてインタビューを行う

調査の目的

- ①地域住民が伝統祭礼についてどのように考えているか
- ②竹野に関わりのない人が曳山巡行に参加してどう感じるのか

地元住民の声（ヒアリング結果）



祭のために地元を出た人たちが帰ってきて、その人たちと酒を交わしながら話すのが楽しい。



全地区の人が集まるので、地域のつながりの機会創出になっている。



老若男女、地元の方、移住者、そして地区外に出た子供たちまで含め、誰もが一体となれる場になっている。

參加した府立大生の声（感想）



初対面なのに家族のように受け入れてくれて
温かい雰囲気で参加しやすかった。



どんな人でも受け入れる姿勢があり心地よかったです。



気さくに接してくださったこともあり、
徐々になじんできて、とても楽しむことができた。

1

地域同士の交流の場になっている (地域の魅力)

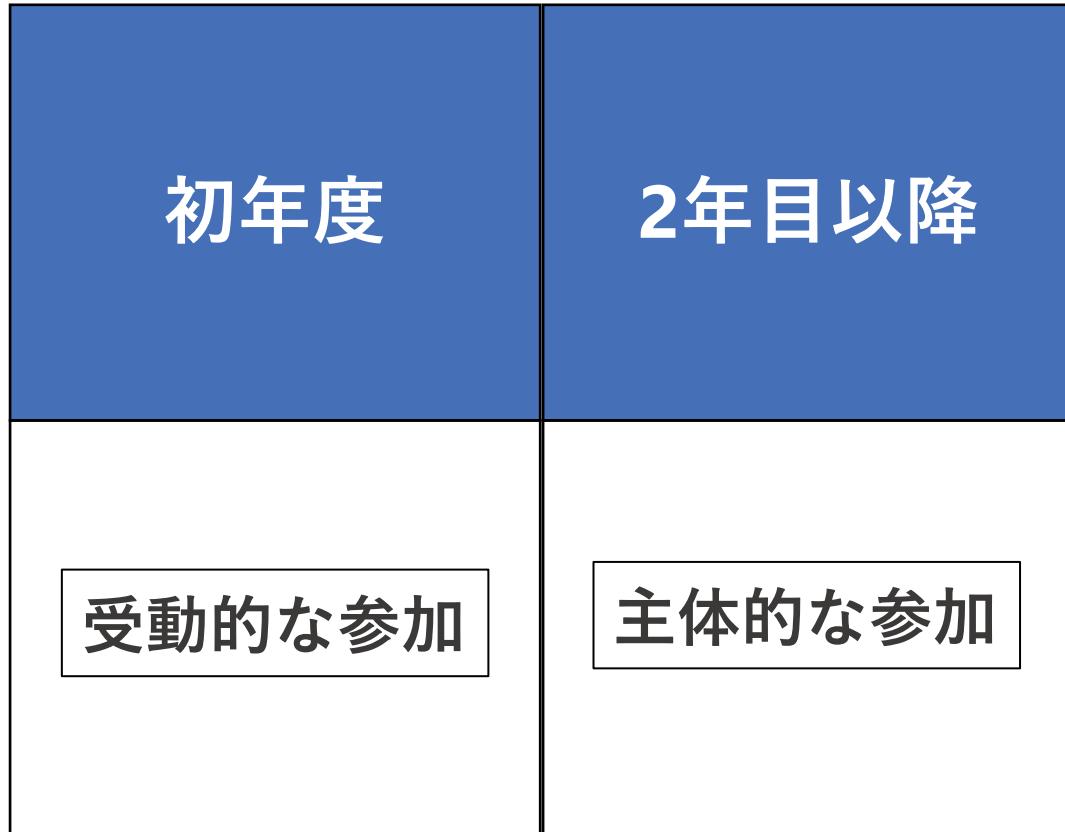
→地域の一体感を生み出している

2

参加者にとって温かい雰囲気が作られている

→地域と関わる心理的なハードルを下げている

移住者の伝統祭礼を通じた地域への関わり方



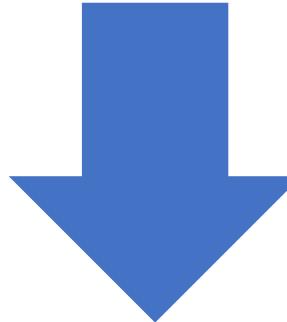
地域の中心的な存在に

移住者の定住にも
恩恵がある

05 考察



祭りの存続



移住定住を促進させる

伝統祭礼の存続が移住定住を促進させる理由

1

移住定住の心理的ハードルを下げる

2

移住定住の大きな理由となる地域の
魅力を作っている

1

移住定住の心理的ハードルを下げる

伝統祭礼の特徴

→ 協働作業・年に一度

地域の雰囲気を端的に示す場

2

移住定住の大きな理由となる地域の魅力を作っている

温かい人柄と雰囲気



2

移住定住の大きな理由となる地域の魅力を作っている

伝統祭礼は貴重な交流の機会

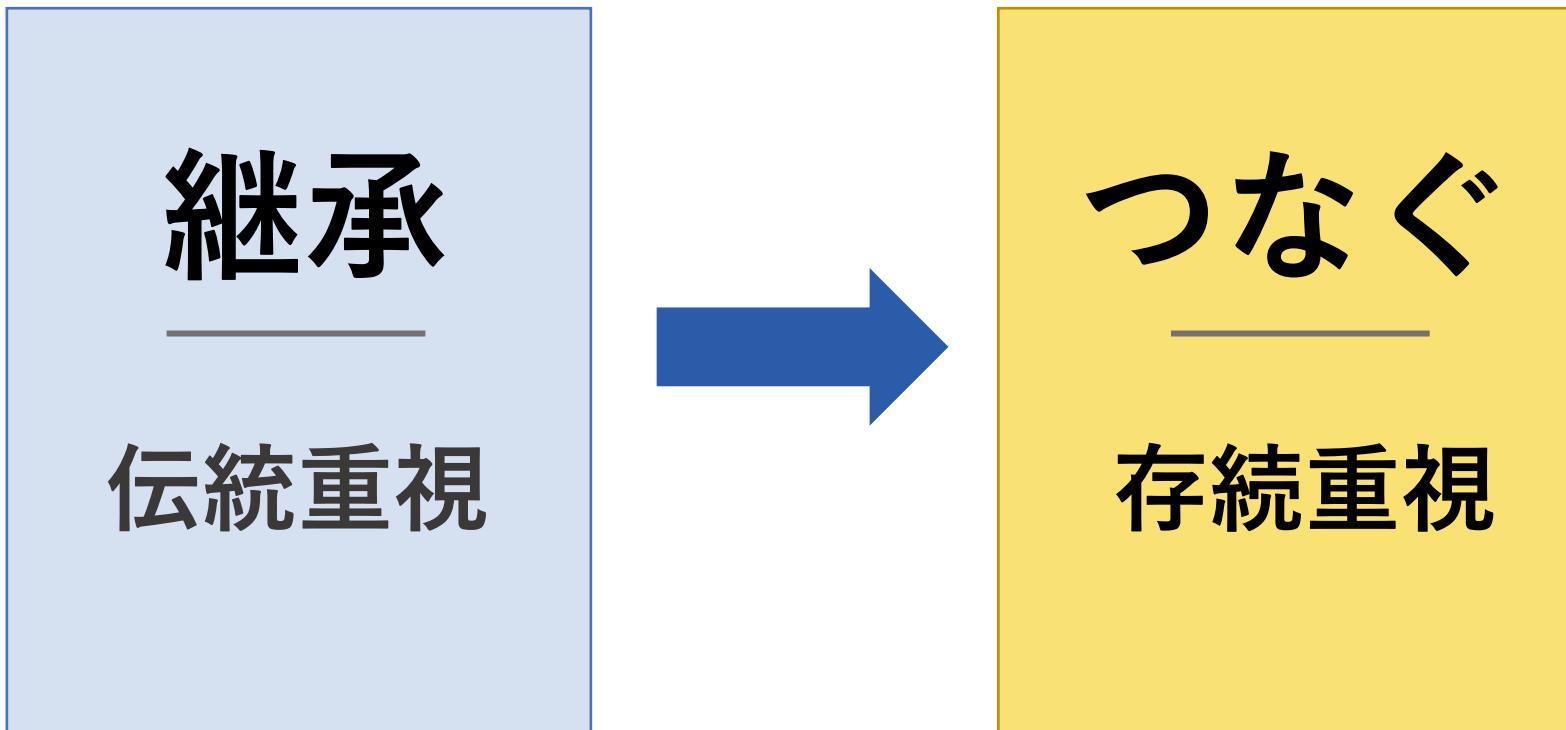
→ 多くの人が集まり地域が活発に



伝統祭礼の運営変更があったから

伝統祭祀の存続が移住定住を促進させる理由②

柔軟な対応



伝統祭礼の存続が移住定住を促進させる理由②

伝統祭礼の運営変更がもたらすもの

1

参加者層の拡大

2

新規参加者層の受け

3

受け入れの雰囲気を醸成

4

交流の活発化

伝統の柔軟な変容は
移住定住を促進させる

06

政策提言



竹野の成功要因

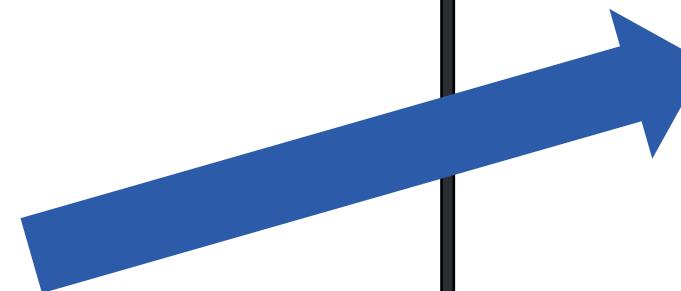
伝統を守る

参加者が流動的
(外部からのボランティアなど)

変化



固定的(地域住民など)



伝統祭礼の存続の役割

提言先

各地域の保存委員会

提言内容

外部の人が参加しやすい環境の整備

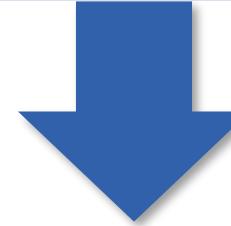
1

必要に応じて祭りを「つなぐ」スタイルへと
変更すること

2

移住希望者への交通手段の提供や地域の人との
橋渡しの役割を担うこと

外部からでも参加しやすい環境を整備



移住定住の後押しとなる仕組みを
確立させる



ご清聴ありがとうございました！

参考文献

- (1) 総務省. (2025/03/23) 「「地方への人の流れの創出」に向けた効果的移住定住推進施策 事例集」. (参照日:2025/10/20) https://www.soumu.go.jp/main_content/000742996.pdf
- (2) LINEヤフー(2025/1/21)(参照日2025/12/08)

9年で668社の神社が減少 危機の「祭り」に女性や地域外の人たちの参加、マッチングサービスも
#絶滅危惧文化 | サストモ - 知る、つながる、はじまる。

- (3) 内閣府地方創生推進事務局.(2025/07/01). 「令和6 年度 関係人口創出・拡大のための対流促進事業（中間支援組織の提案型モデル事業）」. (参照日:2025/10/20)

https://www.chisou.go.jp/sousei/about/kankei/pdf/r606_ehimesaijo.pdf

- (4) 森島明日香.金度源.大窪健之. (2023). 「祭りの行程への参加と地域愛着・世代間交流との関係性 - 岐阜県飛騨市古川町の古川祭を対象として -」. (参照日:2025/10/20)

https://www.jstage.jst.go.jp/article/journalcpij/58/3/58_632/pdf/-char/jy

画像

曳山巡行 | 曳山保存委員会